

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

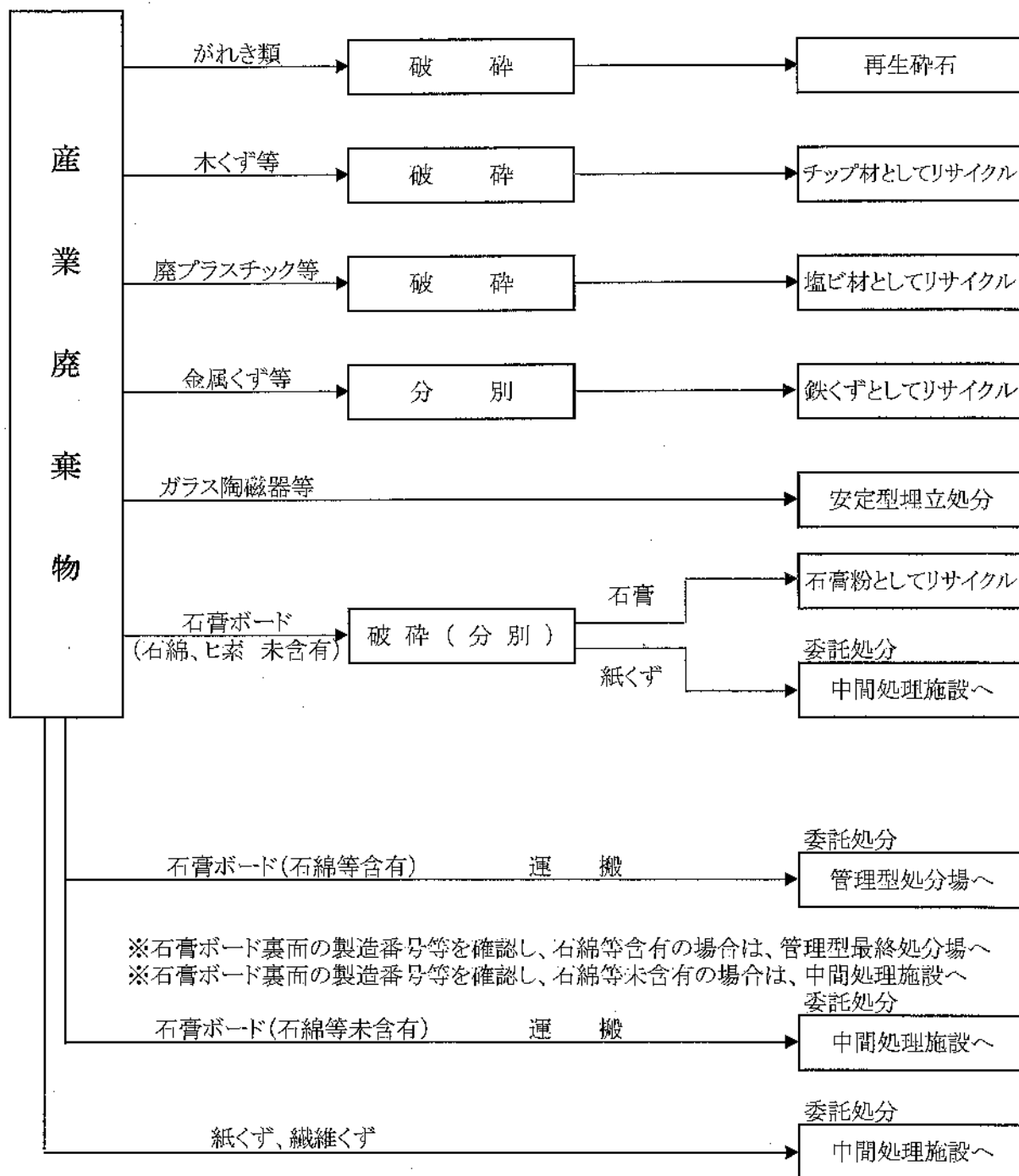
(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月 24日	
青森県知事 宮下 宗一郎 殿	
提出者 住 所 青森県十和田市大字大沢田字池ノ平1-304 氏 名 共栄産業株式会社 代表取締役 中村 栄吉 電話番号 0176-27-3001	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	共栄産業株式会社
事業場の所在地	青森県十和田市大字大沢田字池ノ平1-304
計画期間	令和 <sup>7</sup> <del>6</del> 年 4月 1日～令和 <sup>8</sup> <del>7</del> 年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	土木工事業 とび・土工工事業 建築工事業 解体工事業
②事業の規模	建設工事完工高 3,263,95万円
③従業員数	170人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

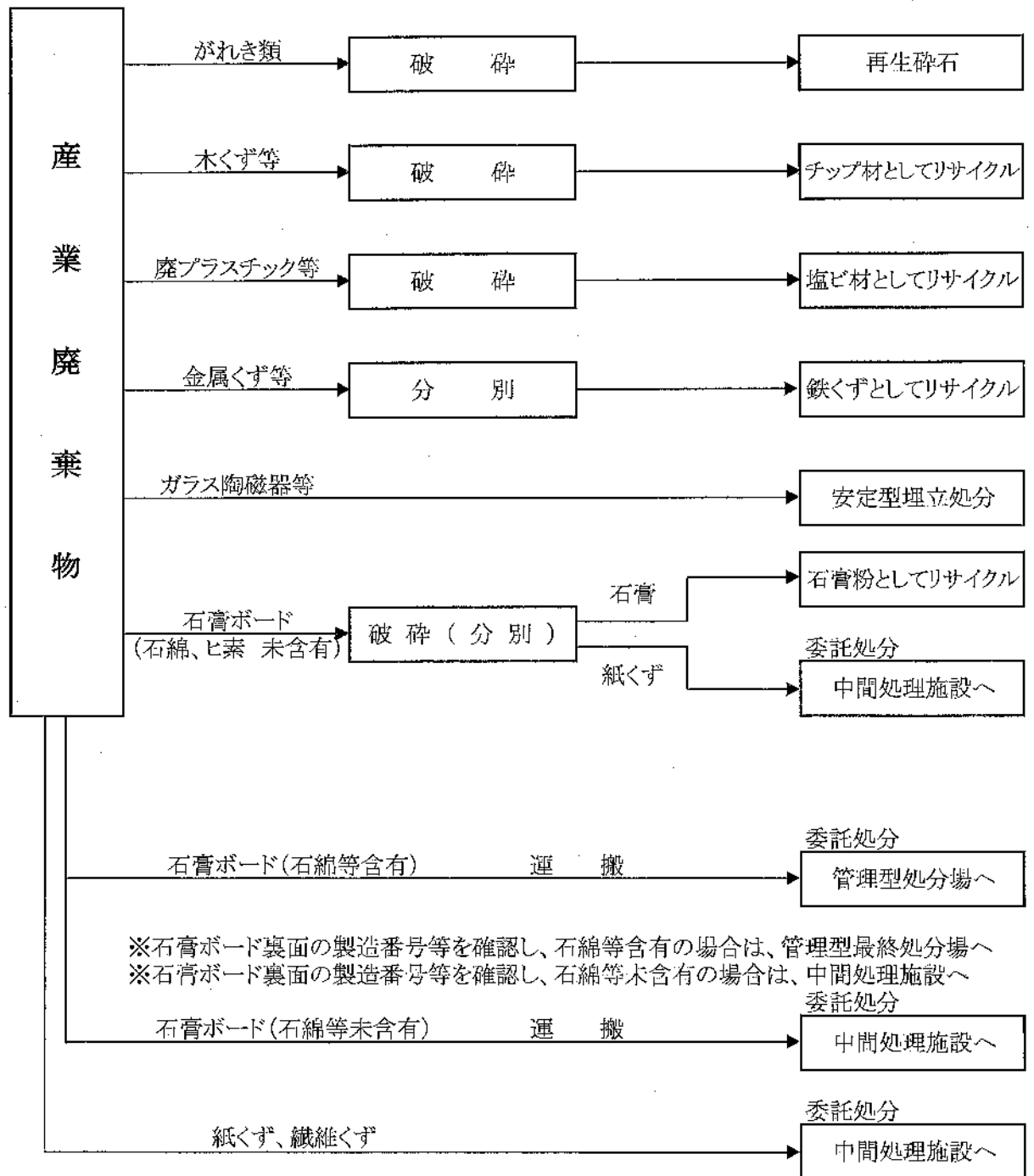
青森県八戸  
環境管理事務所  
-7.6.24  
収受

産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物処理フロー図

産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物処理フロー図

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	排 出 量	93.44 t	198.39 t
	（これまでに実施した取組） 再利用困難な、ガラス・陶磁器類のみを安定型埋立て処分し、廃プラスチック等は中間処理に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	排 出 量	84.09 t	178.55 t
	（今後実施する予定の取組） 前年度と同様に、再利用困難な、ガラス・陶磁器類のみを安定型埋立て処分し廃プラスチック等は中間処理業者に委託処理し、埋立最終処分業者への委託処理を少なくする計画です。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建物の解体工事で発生する廃建材は、できる限り分別し混合廃棄物を排出しないように努めている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建物の廃建材の石膏ボード・木毛板・モルタル・スレート板・タイル・断熱材・防水材等は細かく分別し、混合廃棄物を排出しないように努める計画です。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
排 出 量	8,082.44 t	68.34 t	50.70 t	33.21 t

リサイクル事業の推進として、コンクリート片は破碎処理し再生砕石とし再生利用しました。廃アスファルトは合材プラントの中間処理施設に委託処理し再生利用しました。レンガ破片などのモルタル屑等は破碎処理し再生材ダストとして再生利用しました。石綿含有産業廃棄物は管理型埋立最終処分業者に委託処理し処分しました。

## 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
排 出 量	6,465.90 t	61.50 t	45.63 t	29.88 t

前年度と同様にリサイクル事業の推進として、コンクリート片は破碎処理し再生砕石とし再生利用する計画です。廃アスファルトは合材プラント再資源化施設業者へ委託処理し、レンガ破片などのモルタル屑等は破碎処理し再生材ダストとして再生利用する計画です。石綿含有産業廃棄物は前年度と同様に管理型埋立最終処分業者に委託処理する計画です。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
排 出 量	469.49 t	14.20 t	0.01 t	0.25 t

木くずはリサイクル事業の推進として破碎処理しチップ材として再利用に努めている。繊維くずは中間処理業者に委託処理し、できる限り埋立最終処分業者への委託処理を少なくし埋立て処分の減量に努めました。汚泥、廃油については中間処理業者に委託処理いたしました。

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
排 出 量	422.54 t	12.78 t	0.01 t	0.23 t

前年度と同様に木くずは破碎処理しチップ材とし、繊維くずは中間処理業者に委託処理しできる限り埋立最終処分業者への委託処理を少なくしリサイクルの推進に努める計画です。汚泥、廃油についても前年度と同様に中間処理業者に委託処理する計画です。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	金属くず	建設混合廃棄物	-	-
排 出 量	1.60 t	82.93 t	- t	- t
<p>金属くずは中間処理業者に委託処理し再利用に努めている。廃プラ木材が金属が一体となった解体廃材は分別することが困難なため混合廃棄物として管理型埋立最終処分業者へ処理委託しました。金属と廃プラの混合廃棄物は中間処理業者に処理委託しました。</p>				
【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	建設混合廃棄物	-	-
排 出 量	1.44 t	74.63 t	- t	- t
<p>金属くずは前年度と同様に中間処理業者に委託処理し再利用に努める計画です。混合廃棄物も前年度と同様に管理型埋立最終処分業者に委託処理する計画です。金属と廃プラの混合廃棄物はできる限り中間処理業者へ処理委託しリサイクルの推進に努める計画です。</p>				

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3.41 t	- t
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチックは破碎処理し塩ピチップ材として再利用に努めています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3.06 t	- t
	(今後実施する予定の取組) 前年度と同様に、破碎処理し塩ピチップ材として再利用に努める計画です。		



## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	7,906.81 t	- t	50.70 t	- t

リサイクル事業の推進としてコンクリート片は破碎処理し再生砕石とし、レンガ破片などのモルタル屑等は破碎処理し再生材ダストとして再生利用に努めています。

## 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	6,325.44 t	- t	45.63 t	- t

リサイクル事業の推進としてコンクリート片は破碎処理し再生砕石とし、レンガ破片などのモルタル屑等は破碎処理し再生材ダストとして再生利用に努める計画です。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	456.60 t	- t	- t	- t

リサイクル事業の推進として、破碎処理しチップ材として再利用に努めている。

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	422.54 t	- t	- t	- t

前年度と同様に破碎処理しチップ材として再利用に努める計画です。

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	76.90 t
	（これまでに実施した取組） 再利用困難なガラス・陶磁器類を安定型埋立処分しました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	69.21 t
	（今後実施する予定の取組） 前年度と同様に再利用困難なガラス・陶磁器類を安定型埋立処分する 計画です。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	全処理委託量	90.03 t	121.49 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	41.13 t
	再生利用業者への 処理委託量	88.69 t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	7.97 t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t
	（これまでに実施した取組） 廃プラスチック類は中間処理業者に委託処理し、ガラス陶磁器くず類 である石膏ボードと断熱材は優良認定の中間処理業者に委託処理し、 埋立処分の減量に努めました。		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	175.63 t	68.34 t	- t	33.21 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	2.38 t
再生利用業者への 処理委託量	175.63 t	68.34 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

廃アスファルトは合材プラントの再生処理業者に処理委託しました。石綿含有産業廃棄物は管理型埋立最終処分業者へ処理委託しました。

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
全処理委託量	12.89 t	14.20 t	0.01 t	0.25 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	12.89 t	0.45 t	- t	0.25 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

繊維くずは破碎処理している中間処理業者に委託処理しました。汚泥、廃油は中間処理業者に処理委託しました。

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	建設混合廃棄物	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	建設混合廃棄物	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	建設混合廃棄物	-	-
全処理委託量	1.60 t	82.93 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	1.60 t	4.61 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

金属くずは中間処理業者に委託処理し再利用に努めている。廃プラ木材が金属が一体となった解体廃材は分別することが困難なため混合廃棄物として管理型埋立最終処分業者へ処理委託しました。金属と廃プラの混合廃棄物は中間処理業者へ処理委託しました。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	全処理委託量	81.12 t	109.34 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	37.01 t
	再生利用業者への処理委託量	79.82 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	7.17 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラスチック類は中間処理業者に委託処理し、ガラス陶磁器等くず類である石膏ボードは優良認定の中間処理業者に委託処理し、断熱材は優良認定の中間処理業者に委託処理する計画です。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
全 処 理 委 託 量	140.35 t	61.50 t	- t	29.88 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	1.90 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	140.35 t	61.50 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t
前年度と同様に廃アスファルトは合材プラントの再生処理業者に委託処理する計画です。石綿含有産業廃棄物は管理型埋立最終処分業者へ処理委託する計画です。				



【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	その他の汚泥	廃油
全処理委託量	11.60 t	12.78 t	0.01 t	0.23 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	11.60 t	0.40 t	- t	0.23 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t
前年度と同様に繊維くずは破碎処理している中間処理業者に委託処理する計画です。汚泥、廃油は中間処理業者に委託処理する計画です。。				

【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	建設混合廃棄物	-	-
全 処 理 委 託 量	1.44 t	74.63 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.44 t	4.14 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t
<p>混合廃棄物は前年度と同様に管理型埋立最終処分業者に委託処理する計画です。金属と廃プラの混合廃棄物についてはできるかぎり中間処理業者へ処理委託する計画です。</p>				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。